

令和2年度 北区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	令和3年1月28日（木）午後1時30分から午後2時30分まで
会 場	北地区コミュニティセンター 2階 大ホール
出席者	<p>北区自治協議会委員 23名（欠席7名）</p> <p>教育委員：田中賢一委員、渡邊節子委員</p> <p>事務局：教育総務課課長補佐、教育総務課主査、学校支援課課長補佐 学校支援課指導主事、保健給食課参事 豊栄地区公民館館長、豊栄図書館館長 北区教育支援センター所長 他3名</p> <p>傍聴者： 1名</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 教育委員挨拶</p>
田中 教育委員	<p>こんにちは。昨年度に引き続きまして北区を担当させていただいております教育委員の田中賢一と申します。本日は、本当にお忙しい中教育ミーティングにお集まりいただきまして大変ありがとうございます。</p> <p>例年でありますと、6月から7月にかけて第1回目の教育ミーティングを開きまして、今年度の市の取組みであったり、あるいは委員の皆様方と意見交換をするというようなことであった訳ですが、新型コロナウイルスの影響で、あらゆる活動がストップしてしまいました。</p> <p>学校現場では、感染防止対策と子どもの学力保障という大きな課題を背負いましてどの学校も一丸となって取り組んでいるところであります。また、委員の皆様方からはそれぞれのお立場で学校に対して様々なお力添えをいただいているということで、本当にありがたい気持ちでいっぱいでありまして、ご苦労様でございます。</p> <p>本日は、限られた時間ではありますが、新潟市のGIGAスクール構想、そして学校現場におけます新型コロナウイルス対策につきましてご説明申し上げ、また皆様方からご意見を頂戴したいと考えております。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
渡邊 教育委員	<p>こんにちは。教育委員の渡邊節子と申します。北区と秋葉区を担当させていただきます。</p> <p>今年度、今回が初めての北区の教育ミーティングとなりました。田中委員が言われたように、新型コロナウイルスの影響でこういった市の色々な催し物、また学校の中でも予定も変更や行事の練り直しなどが相次ぎました。そうした中で、その分忙しくもなるのですが、皆さん工夫して、そして助け合いと言いますかやはり横のつながりで、地域の皆様からのご協力で、何とか</p>

	<p>この1年間やってきたのではないかと思っています。また、私自身も、学校でスクールカウンセラーをしておりますが、横のお互いの助け合い、協力というのがとても大事なことで実感するようなそんな1年でありました。そういった中、今日はこうしてまた皆さんで集まる機会が持てたことをとてもありがたく感じています。なかなかない機会ですので、短い時間ではありますが皆様から色々な意見をいただき、意見交換の会ができるの良いと考えております。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
議 事	<p>3 説明</p> <p>(1) これからの時代の学校教育について (タブレットを活用した授業)</p> <p>(2) 新しい生活様式を踏まえた学校運営について</p> <p>(3) 質疑応答</p> <p>※ (1) (2) の説明内容は会議資料を参照</p>
司 会 自治協委員	<p>これより質疑応答に入ります。ご発言の際は所属とお名前をお聞かせください。今ほどの説明で、ご質問、ご意見ございますでしょうか。</p> <p>何点かお聞かせください。</p> <p>1人1台のタブレット端末を活用した学習が子どもたちの学力はじめ、たくましく生きる力を更にしっかりつけてくれるのではないかとということで私自身は期待をしているところです。</p> <p>一つ、家庭でもインターネット通信で学習可能ということで家庭でも Wi-Fi の環境のないお家がまだまだたくさんあるかと思うんです。その Wi-Fi 環境を整えるために必ずお金がかかる訳ですが、今貧困とか色々ありますけれども、そのお金はすべての保護者が負担して環境を整えていくのでしょうか。これが一つ目です。</p> <p>タブレットの管理ですが、管理の仕方、配付されたタブレットは自分で管理するのでしょうか。誰々のものとはっきり名前を付けて、その物は自分で使うんだよというふうにしていくのかどうか、聞かせてほしいと思います。</p> <p>あと、GIGA スクールサポーターについて、4校に2人とありますけれども、GIGA スクールサポーターは、どのような方を採用する予定で勤務体系というのは4校に2人なので、どんなふうになっていくのか、聞かせていただきたいと思います。</p> <p>もう一つ、とても心配していることなのですが、今始まったことではないのですが、近年子どもたちの近視が激増しています。インターネット等長時間至近距離を見るという生活が続いたり、遠くを見る機会がとっても少なくなったり、そんなことで近視の子どもが激増しているのだと思います。それで、この GIGA スクールを始めるにあたって、目の健康のことについてもっと考えていかななくてはいけないのではないかと思っていますが、対策を考えて</p>

学校支援課

ほしいなあという、これは要望です。

大変ありがとうございます。では一つずつお答えさせていただきます。

まず、学校には、今日のスライドの中にはあまり説明がありませんでしたが、GIGA スクール構想推進ガイドラインというものを12月に出しており、21日にもちよっと付け加えてまた発出しています。様々そこに載っていることがあります。その中のことをお話させていただきます。

一つ目ですが、Wi-Fi 環境が整わないご家庭について、新潟市でも調査をした結果、約2割弱くらいが今のところ Wi-Fi 環境がないという調査の結果が出ています。こちらとしては、まず、モバイルルーターと呼ばれますインターネット通信を可能にする持ち運び可能な物を市の方で購入して必要なご家庭にお貸しできるような環境を今整えているところです。ですが、通信料の負担については、今のところ家庭負担になるという予定なので、当然お金がかかってくるところです。子どもたちが、学びに、これからをたくましく生き抜くために必要な力を育成するために、今後こういうことが必要だということ自体を、子どもの姿から伝えていきながら、ご理解をいただきながら進めていければというふうに思っているところです。当面ですが、宿題等の学習に、家でインターネットを接続しなければいけないようなものは出さないような配慮をしながら、実際 iPad の端末上に保存しておくような機能もありますので、そういうようなものを活用して、そういうようなお子さんも学びが保障されるようなことを考えながら、徐々に Wi-Fi 環境が整っていくようにこちら側でもお願いをしていくというような形になっています。

二つ目です。管理のさせ方ということですが、今回は、コロナウイルスが流行った関係で、一気に小学校1年生から中学校3年生まで今年度中に入るということに実は途中で変わりました。それまでは小5、小6、中1だけが今年度配付の予定でした。ですが、小1から中3まで入ることになったおかげで、一人1台が入ることになり、自分の端末という形で管理ができるようになりましたので、名前のシールを貼って、子どもたちが自分の物だというふうに考えて大事に使うということができるようなやり方を予定しているところです。

三つ目です。GIGA スクールサポーターについて、どのような方、勤務体系ということですが、既に今年度 GIGA スクールサポーター入っておりますが、色々な企業の共同でチームとなって組んでいる集合体となっています。というのは、なかなか、ICT に長けていて、教育のことが分かるというようなことは専門性が高いものですから、色々な専門性の高い人たちが集まって、それぞれの得意なことを活かしながらというようなことをできる方たちを私たちの方で選ばせていただきまして、今、委託という形で進めているところです。来年度以降も ICT 支援員ということで同じように学校に入る形で考えて

<p>自治協委員</p>	<p>おります。勤務体系は企業体による考え方になりますので、少しずつ変わるのですけれども、学校には週に1回くらいは来てもらえるような状況を作るようなことを考えております。学校の規模によってニーズが違いますのでそれに柔軟に対応できる形が望ましいかなと考えております。</p> <p>最後です。子どもたちの健康面についてですが、ガイドラインにも書いてありますが、30という数字をキーワードに挙げています。30分間使ったらいったん休むということと、30センチ画面から目を離すという30というキーワードをガイドラインで示しながら、子どもたちの健康について配慮することができればというようなガイドラインを出しているところです。</p> <p>実は私はコンピュータを専門的に教育していたことがあって、専門学校や大学で教えているのですけれども、何点か質問したいのですが、まず一つは、文部科学省の方からは3機種というのですか3種類設定されていますけれども、iPadに決めた理由を、たぶん特別支援学校でやっていたということからだと思うのですけれども、最終的にiPadにした理由は何かということと、どういう形でGIGAスクールというのを想定をしているのか。最終的に小学校1年から中3まで、ただ、今度の中3は1年しか使わないわけですから、関わる期間が非常に短いのですけれども、どういう目標でとらえているのか。</p> <p>それからサポーターの件ですが、学校で週1クラス何コマを想定しているのか、iPadを買った時期によって例えば小学校だと6学年、クラス数が2クラスあるとすれば12コマあるわけのですけれども、サポーターは4人で足りるのか、そういう人数的な問題。それから、おそらく令和6年度頃ですか、全部デジタル教科書ということを書いてましたけれども、入試の対応はどうやってやるのか、入試はおそらくパソコンやiPadではなくペーパーでやると思うんですけど、その対応、特に高校入試をどうやって考えるのでしょうか。おそらく文部科学省も考えているのだと思いますけれども、ただ私立の中学校もありますし小学校6年生でそのへんのところを考えておくべきだと思うのですけれども、対応をどうやってやるのか。</p> <p>後は、おそらくパソコンやスマホでSNSで色々な問題があると思うのですけれど、それに対してネットに関するマナー教育がかなり重要になってくるだろうし、一人1台となれば。</p> <p>それから、端末は一人1台もらったという考えなのか、それとも貸与の形なのかお聞かせください。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>最初の質問です。お話のとおり、ウインドウズ端末、クロームブック、iPadという3種類が大きくありますが、iPadが、特別支援で使いやすいとい</p>

うこと、また小学1年生から使うことを考えた時に、直感的に操作できるということがとても大事だということで総合的に判断してiPadにしました。

次ですが、中3は少ししか持てないということですがけれども、今高校の方でも基本3人に1台というのが国の方針で、順次高校生もタブレット端末を持って学習していく流れは来ていますので、接続はそこで可能かなと思っています。

GIGA スクールサポーターについてですが、人数の目安としては、GIGA スクールサポーターは80名くらいです。ICT 支援員も40名くらいです。ただ、その人数分の働きをしてほしいとこちらからお願いしているような形です。iPad を使った授業をするときは必ずいなければいけないという形ではなく、先生方は、基本的にそういう授業は日常的に行われるようになるので、最初の補佐であるとか、本当に必要な時に入るといったような形で今考えております。

入試に関しては、まだ今後色々変わっていく内容でありますので、そこは現場で行われるときにまた子どもたちがそういう学習に対応できるように配慮が必要なのだと改めて思いました。

入試対応は国の方針としてもこれから出て来るものですし、大学入試はコンピュータでという見通しもあるようですが、まだ高校は県教委とのからみもありますのではっきりとは申し上げられませんが、お子さん達の学力がしっかりと身につくようなことをこちらでも考えなければならぬと思っております。

スマートフォン等があると情報モラル的なことが必要だということはおっしゃるとおりなので、そこは並行して子どもたちと学習を深めると同時にモラル的なことを深めるということ並行していくように市教委としても発信していきたいと考えております。

最後ですが、もらえるのか貸し出しなのかという点についてですが、貸し出しということになっております。

自治協委員

実際に小中高生の子どものいる保護者としての質問なんですけれども、子どもたちはきっと学校で SNS とか端末に対する説明はもちろん受けるのでしょうし、SNS の危険性や色々な指導ももちろんあると思いますし、私もホームページで見て、GIGA 宣言とか、きっと子どもたちは素直に受け入れてくれると思うんですけれども、全ての保護者が IT リテラシーが高いとは思えないのですが、先程の説明の中にも家庭と連携して持ち帰りを進めていくということでしたが、保護者へのサポートや説明は一切なかったのでしょうかという風にやっていくのかなと。たぶん同意書とかをこれから取るんですか。もし反対する方がいらっしたらどうするのかと思いました。

学校支援課	<p>ありがとうございます。おっしゃるとおり心配な点も、今のところ大きな転換点なのであると思います。保護者の協力支援なくしてこれは成立しないものだと思っておりますので、子どもたちがより良く使うと同時に保護者への理解も必要なのだと改めて私達も思っているところです。同意書という言葉がありました。今、改めて、iPad を利用するにあたって、新潟市では同意書ではなく確認書ということで各子どもたちに一枚ずつ、保護者の方にも名前を書いていただくような形でこんなふうに貸したものですので、GIGA 宣言を理解したうえで学びに有用に使ってくださいということでその中に色々注意事項、個人情報の保護とか人権侵害、著作権などよく疑問に思うような点を書いたものが配られていきます。それだけで完結するものではないので適宜必要なものですし、子どもたちの情報モラル的なことが同時に育つように学校の先生方が対応できるような研修等も含めて今進めているところです。</p>
自治協委員	<p>結局保護者への説明などは紙だけで終わるとのことですか。</p>
学校支援課	<p>教育委員会として全体で示すということに関しては今のところはその確認書は教育委員会がフォーマットで出しているものですが、先程も説明の中でありました GIGA サポートウェブというウェブサイトを出しながら順次必要な情報を出していくということです。また、学校が、基本的には、目の前の子どもたちに合った運用をしていくということなので、目の前の子どもの実態に合った運用方法を保護者の皆様にお伝えしていくということになると思うんですけども、それは学校によって違う部分もあると思うんですけど。今のところそう考えています。</p>
自治協委員	<p>ありがとうございます。先生がこれ以上忙しくならないといいなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございました。お時間になりましたので、このへんで意見交換を終了させていただきます。皆様からの貴重なご意見ありがとうございました。</p>
議 事	<p>4 北区自治協議会会長挨拶</p>
自治協議会 会長	<p>本日は教育委員会の皆様方には遠路お越しいただきまして、まずもってお礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>今ほど、GIGA スクールについてご説明いただいたのでございますが、GIGA スクールの具体的な導入のお話の中で、本当にメリットはこうだという夢があるようなお話をいただきながらも一方で必ずメリットがあればデメリットもあるわけでしょうし、そのへんをしっかりと把握する、あるいはそういうこ</p>

	<p>とお伝えすることが必要ではないかなというふうにお聞きしながら思いました。</p> <p>機器を利用して、今のお話の質問の中にもありましたけれども、私自身も非常に便利な代わりに、物を書いたりまとめたりという手作業がだんだんおろそかになる。大人自身もそうですが、文字をだんだん書かなくなるとかですね。やっぱり学校においては読み書きというようなことも一方でどこでどうきちっとやっていくかっていうことも一つあるでしょうし、学力に応じた色々な使い方ができて個別にやれていいんだという反面、進度がどんどん、学力差がクラスの中にある訳ですから、進度が個別に変わってきます。それをどんなふうに先生方は今度これをどう活用しながら、その学力差に応じた指導がなされるのかな、そんなことも私はイメージをなかなか持てなかったわけですが、先生方が非常に指導力が問われていくのかなと。ますます大変になっていくな、指導過程、内容をどう持つていくかっていうのも重要なこれから研究ファクターになるかなということも思った次第です。</p> <p>一方で二つ目の感染対策ガイドラインのお話、新潟市内もほとんど学校からクラスターは発生していないということは、日々の先生方、職員の皆さんの毎日のご努力のおかげだと私も思っております。それだけ大変なご苦労をなさっていることも聞いております。ですから、教育委員会としてこういうガイドラインは示すけれども一方で、そういう現場が大変ご苦労し難儀し相当な負担をしながらやっていることへのケアはどんなふうにやっているのか、環境良く先生方が仕事しやすい環境整備をどうしているのかということも一方で教育委員会は考えていく必要があると。現場の先生はなかなかそういうことを自分たちからは言えないわけですから、そういうことへの優しい温かな心ということも、一方的にこうしてくださいではなくて、その温かさもあってほしい。こういうふうなことが私自身の、お話を聞きながらの実感でありました。</p> <p>いずれにいたしましても本当に、今日は色々な新しい形での教育が進められることについてご説明いただきましてありがとうございます。御礼申し上げます。</p>
議 事	5 閉会
司 会	以上をもちまして、令和2年度北区教育ミーティングを閉会いたします。長時間にわたりまして、大変ありがとうございました。